

平成15年度 施策評価表

○総合計画における位置付け等

平成15年6月10日記入

基本目標	Ⅱ ▼ ゆとりある みどり豊かな環境共生都市をめざして	施策コード	23210
政策名 (章)	第3章 安全に暮らせる都市の実現をめざします	評価担当課	市民部 ▼
基本施策名 (節名)	第2節 安心して暮らせるまちづくり		交通安全課
施策名	交通事故のないまちづくり	課長名	座間文夫

1 施策の概要・目的

市民を交通事故から守るため、道路や交通安全施設の整備充実に努めるとともに、関係機関等との連携により、交通安全意識の高揚を図るなど、交通安全対策を推進します。

2 施策の現状

平成13年と比べ、平成14年の相模原市内の交通事故件数及び事故による死者数ともに減少した。交通事故による負傷者のみ3人増加した。

3 総事業費及び人員

(1) 施策に要している総事業費

568,463 千円……構成事務事業全体の事業費合計(人件費含む)

(2) 市民1人当りの事業費

923 円/人……人口は、**61.6** 万人とした。(平成15年4月1日現在人口)

(3) 全施策中の順位(事業費)

この施策の市民一人当たり事業費は、全123施策のうち、第 **49** 番目です。

(4) 施策に要している人員

8.14 人……構成事務事業全体の人員合計

4 評価指標

指標	指標名および指標式	指標の意図	現状値と目標値			目標
			現状	目標	達成度	目標年度
指標1	交通事故件数における前年度との比較 平成14年－平成13年 (5,356件－5,401件＝△45件)	施策の目的を達成するため、事故件数を前年より減らす。	△45 件 単位	0 50 100	15	目標年度
			△1以上 件 単位		100%	達成度
指標2	交通事故による死者数の前年度との比較 平成14年－平成13年 (17人－25人＝△8人)	施策の目的を達成するため、事故による死者数を前年より減らす。	△8 人 単位	0 50 100	15	目標年度
			△1以上 人 単位		100%	達成度
指標3			単位	0 50 100		目標年度
			単位			達成度

5 必要性…市民ニーズに合っているか、行政需要の変化に対応しているか

交通事故のないまちづくりを目指すことは、行政の役割である。

6 有効性…期待される効果があがっているか

平成13年と比べ、平成14年の相模原市内の交通事故件数及び事故による死者数ともに減少しているので、十分効果があがっていると思える。

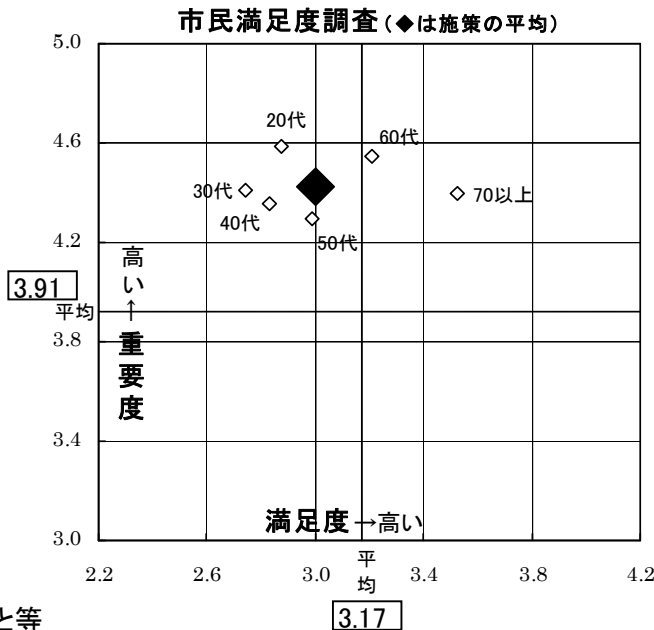
7 効率性…費用対効果が優れているか、もっと大きな効果が得られるものはないか

十分な効果があがっていると思えるが、もっと大きな効果を得るように、あらゆる機会を通じて交通安全教育を徹底し、交通安全意識の高揚に努めたい。

8 市民満足度調査結果からの分析(平成15年度調査)

- ◆この施策の満足度は、3.003で、調査した51施策の中で47番目です。
- ◆この施策の重要度は、4.426で、調査した51施策の中で2番目です。
- ◆この施策の改善要望度は、1.006で、調査した51施策の中で2番目です。

◇年齢別にみると、満足度は70歳以上で最も高く、30歳代で最も低くなっています。重要度は20歳代で最も高く、50歳代で最も低くなっています。20歳代～40歳代の比較的若い層で改善要望が高くなっています。



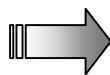
市民満足度調査は、基本施策51項目(節)について調査しています。したがって、上位の基本施策が同じ場合は同じ内容となっています。(「〇総合計画における位置付け等」参照)

9 課題…施策を実現するにあたり、課題となっていること等

この施策自体の究極の目標は、交通事故による死傷者数を根絶することにある。そのためには、さらに事業を推進し、関係機関とも十分連携していきたい。

10 今後の方向性(一次評価)

今後の方向
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充する
<input type="checkbox"/> 現状維持する
<input type="checkbox"/> 見直し



説明及び具体的内容

現状のように、交通事故件数等の前年との比較が、毎年度減少して事故による死傷者数が根絶するように、事業の拡充を図っていきたい。

11 2次評価

説明
<input checked="" type="checkbox"/> A
<input type="checkbox"/> B
<input type="checkbox"/> C

全国的な傾向として交通事故による死者は減少しているが、現在の啓発重視の事業内容から、市・警察・関係団体・地域・市民の役割分担と連携強化による実効性のある体制づくりを検討すること。

12 外部意見

説明
関係機関等と協力して安心・安全なまちづくりを更に進める必要がある。

施策名 交通事故のないまちづくり

施策コード 23210

構成事務事業一覧

事務事業名	担当課	評価年度	決算額(千円)	人員(人)	評価の概要									施策中の優先順位
					総合評価	達成度	必要性	効率性	代替性	満足度	有効性	公平性	今後の進め方	
交通安全教室経費	交通安全課	14	13,982	0.15	AA	A	A	B	A	B	A	継続	1	
学童通学安全指導員経費	学務課	15	15,223	0.18	AA	A	A	A			A	B	継続	2
違法駐車等防止啓発費	交通安全課	15	11,454	0.20	A	B	B	B			B	A	継続	3
交通安全思想啓発費	交通安全課	14	1,946	0.25	B	A	B	B	A	B	A	継続	4	
交通安全団体補助金 (交通安全都市推進協議会補助金)	交通安全課	14	19,528	0.50	A	B	A	B	A	B	A	継続	5	
交通安全団体補助金 (交通安全協会補助金)	交通安全課	15	2,249	0.01	AA	A	B	A			A	A	継続	6
鹿沼児童交通公園管理運営費	交通安全課	15	10,255	0.10	AA	A	A	B			A	A	継続	管理
学童等交通誘導員負担金	交通安全課	14	9,131	0.05	A	A	A	A	C	A	A	見直し		
チャイルドシート普及啓発費	交通安全課	15	1,440		AAA	A	A	A			A	A	完了廃止済	
交通安全施設整備事業	道路補修課	14	257,142	4.10	AAA	B	A	A	A	A	A	継続	再掲	
市道南大野歩道整備事業	南土木事務所	14	67,507	0.10	AA	A	A	A	A	B	A	継続	再掲	
交通安全施設整備事業	南土木事務所	14	20,256	0.50	AAA	A	A	A	A	B	A	継続	再掲	
東大沼歩道橋架替事業負担金	南土木事務所	14	842	0.10	AA	A	B	A	A	B	A	完了	再掲	
小田急小田原線相模大野5号踏切道改良工事委託	南土木事務所	14	36,887	0.10	AAA	A	A	A	A	A	A	完了	再掲	
小田急小田原線相模大野4号	道路整備課	15	74,292	0.05	A	A	A	B			B	A	完了	再掲
道路点検パトロール経費	道路補修課	14	7,088	0.55	AA	A	A	A	A	B	A	継続	再掲	
路上放置自動車等撤去委託	道路管理課	15	19,241	1.20	A	B	A	A			A	C	見直し	再掲

合計 17 事務事業

568,463 8.14 千円 人 平成14年度評価:達成度、必要性、効率性、有効性、代替性、満足度
 平成15年度評価:達成度、必要性、効率性、有効性、公平性